

ご寄付・寄贈をいただいた方

(敬称省略・順不同)

金子芳尚	大統寺	仁藤重彦	鈴木泰子	匿名
菊田宗平	匿名	齋藤雄一	星 一	満山喜一
庄子一郎	田子靖子	瀬戸達平	菅原敏子	柴田屋
(株)朝日ラバー	西牧設備工業	多田豆腐店	雪割牧場	那須醤油

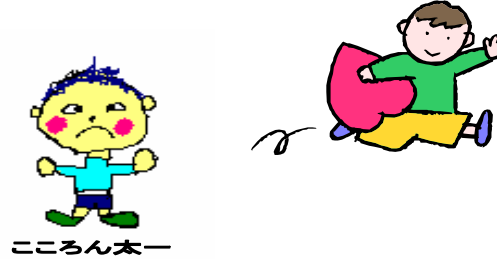
南湖こころのクリニック

新しく会員になられた方

正会員
五十嵐 寛 野崎正和

賛助
久光美恵子

Thank you



こころん太一

平成18年10月15日発行

こころん

第12号

発行者：NPO法人こころん

〒969-0101
福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸9
生活支援センター こころん

TEL : 0248-54-1115

FAX : 0248-53-3063

E-mail : kokoron@r2.dion.ne.jp

http://www.geocities.jp/kokoron_2005/top/index.html

こころんの直売所&カフェ「こころや」がオープンしました!!



これから「こころや」がオープンしま〜す

大勢のお客さんと賑わっています

お 知 ら せ

活動報告

- 8月20日 県民の日ときめきフェスタ(ビッグパレット)
- 8月23日 ひきこもり教室
- 8月24日 医療相談
- 8月30日 家族教室(相澤與一氏)
- 9月10日 第3回こころんまつり(泉崎中央公民館)
- 9月20日 家族教室(渡辺純夫氏)
- 10月13日 直売所オープン記念式典
- 10月14日 直売所オープンセール15日 "

今後の予定

- 10月26日 医療相談
- 10月26日 アート展実行委員会
- 11月18日 こころんアート展~19日 "
- 11月22日 家族教室(広田和子氏)
- 11月25日 清掃ボランティア活動(公民館主催)
- 11月28日 レク(温泉へGO!)
- 11月29日 ひきこもり教室
- 12月13日 家族教室(家族の体験と交流)
- 12月未定 クリスマス交流会

こころんの直売所&カフェ「こころや」がオープンしました
利用者の方々が、自分の個性に応じ、就労や社会参加していく場として機能していきます。皆様方、「こころや」に是非ご来店いただきますよう、よろしくお願いいたします。

営業時間
夏季 10時~18時
冬季 9時~17時
定休日
毎週火曜日
電話
0248-53-5568

安心がまた一つ増えました

今年度の福島県総合社会福祉基金の助成を受け、「こころん号(8人乗り4ドアバン)」が、10月2日に納車されました。現在、利用者の送迎等にフル稼働しています。これから地域交流への参加、利用者の送迎、直売所への移動、利用者の自立生活支援等に活躍の場が広がっていきます。



ボク(こころん号)は安全運転でみんなを乗せて走ります。街中で、ソレイユオレンジ色のボクを見かけたら、手を振って応援してね。

編集後記

「第3回こころんまつり」が盛況のうちに終わりましたが、息継ぎ暇もなく「こころや」のオープンに向け、利用者・スタッフ大忙しの毎日でした。連日、実行委員会やミーティングを重ね、どうにか「こころや」オープンに漕ぎつけることができました。オープンに際し、多くの方々からご声援やご支援をいただきました。本当にありがとうございました。
障害者自立支援法により、10月から障がい者福祉サービスの提供方法が大きく変化していきます。国の示しが不十分ということもあり、不透明・玉虫色の部分が多いため、どんな港に着けるか霧の中状態です。でも、「こころん号」の出航目的は明確であり、既に船出しました。船の大きな原動力(エンジン)は利用者です。船の燃料は皆様方のご支援です。原動力のこころやでの活躍ぶりは、本広報「こころん」で定期的にお知らせしてまいります。乞うご期待!!

(O/S)(三村)



直売所運営の募金を募集しています

障がいのために一般の就労が困難な方達が、安心して働きながら社会参加していける直売所がオープンしました。商品コンセプトは安心・安全・美味しいです。この直売所の運営資金が不足しています。皆様、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(ぺったん・ぺったん うん むずかしいな...)



子供達もお祝いのモチをつきました (^。^)

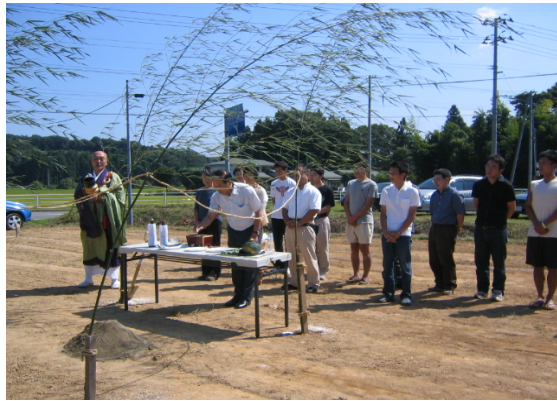
障害者自立支援法により、10月から障がい者の方々に對して、新しい体系によるサービスがスタートしました。こころんでは、就労支援について多機能型(就労移行支援と就労継続支援)事業所として指定を受け、この事業の就労支援の場として、10月14日から直売&カフェ「こころや」をオープンしました。
登録された利用者の方々は、一般就労に向けて、また個人の個性に合わせて、これから「こころや」で働きながら就労に必要な知識・技術・実践力を身に付けていきます。
直売&カフェで働くことについては、皆多少の不安はありますが、「お互い無理しないで頑張ろう」と声を掛け合い、将来の夢に向かって意欲満々です。産声をあげたばかりの「こころや」ですが、どうか皆さんよろしくお願いいたします。シャレたカフェも併設されています。ご来店をお待ちしています。
なお、オープンに際しましては、沢山の関係者・地域の方々にご協力・ご支援をいただきました。本紙面をお借りし心より感謝申し上げます。

利用者・スタッフ一同

P1・こころやがオープンしました
P3・こころんまつり
P5・利用状況 わくわくセンターだより みんなの広場

P2・こころん特集(地鎮祭・プロジェクト・こころんについて)
P4・里山稲刈 家族会 防災訓練
P6・寄付寄贈 入会状況 お知らせ

こころや特集



地鎮祭

さる9月5日、直売所こころや建設予定地で地鎮祭がとり行われました。理事長、スタッフ、利用者数名が集まり、厳かな雰囲気の中、直売所の安全を祈願しました。こころや開店が1ヶ月後にせまる中、まだ先のことだと思い過ぎていた僕はこの日、もう、うかうかしてはられないんだと気付き、心を引き締めました。その後みんなで盃を飲み、ほろ酔い気分になりつつも今日のこの思いは忘れてはいけな心を決めた一日でした。

H.K

こころ直売&カフェ プロジェクト

直売&カフェは何故必要か？

みんな働きたいと思っています。

しかし、病気や障がいを気にしないで働ける所は、そんなにたくさんはありません。

私たちは、病気のため、たくさんの薬を飲んでます。
 病気や薬の副作用のため、体が思うように動かないことがあります。
 そのような時、怠けていると誤解されます。

私たちは、安心して休める、安心してサボれる、働く場所が欲しいのです。



もうすぐ こころや が完成！！

直売所は、パッチワークのように、仕事を小さく分けられます。
 だから、自分の個性に応じて、そこで働くことができます。

お店の仕事以外にも、加工や農業等、たくさんの仕事生まれます。
 だから、たくさんの方がそこで働くことができます。

地域のふれあいの場でもあります。
 たくさんの方に、病気や障がいを理解してもらえたなら、障がいは半分になります。

直売所は、私たちの会社です。
 そして、地域の会社です。

障がいがあっても、なくても安心して暮らせる社会になりますように！

カフェメニュー



みんなであれこれメニューを考えています

みんなで業者さんから講習を受け レジ打ちの練習を重ねました



なかなか難しそうだなあ～



こころやオープン式典での名付け親表彰

みんなに親しまれるように考えました。
 選ばれてビックリ！！

支援センターこころん利用状況

◇利用登録者 88名 (男性 58名 女性30名) (10月1日現在)

センター利用者			見学等来訪者		
8月	9月	計	8月	9月	計
334人	340人	674人	126人	155人	281人

相談件数					
区分	電話	面接	訪問	同行・その他	計
8月	92	41	23	16	172
9月	127	64	9	12	212
計	219	105	32	28	384

わくわくセンターだより

ときめきフェスタに参加して...

当日は、わくわくセンター出店のため、朝早くからこころんに行き荷物を積み、それから会場のビッグパレットに向った。到着してからブースに商品を並べたりして、とっても忙しい時間でした。販売も始まりお客さんが集まりだし、数人が手売を始め自分も初めて経験した。思ったより売れたので楽しくて、繰り返し販売しました。こころんのブースには、竹や稲とあじさいが飾られていて、ひときわ輝いてました。ビンゴ大会では20名の中に残ったけど、航空券は当たらなかったよ...ポロポロ...

(^A^A)

T.W

ときめきフェスタに出店しました！！



みんなのひろば

長谷川ファミリーコンサート



こころんコンサートに参加して

8月5日に早いもので5回目となる、こころんコンサートがありました。今回出演していただいたのは、長谷川ファミリーという方々です。ピアノとハーブの妙なる調べと美しい歌声のコンサートでした。お客さんの方も沢山参加いただきました。清んだ繊細なハーブの音に感動しました。最後に僕が選ばれ花束贈呈がありましたが、初めての事なのでもの凄く緊張しました。でも終わってみたら、平常心で出来たので安心した。次回も参加し、今度はお礼の言葉が言えたらと思った。

H.S



障害者自立支援法の勉強会

現在、最大の関心事は、10月からの障害者自立支援法でのサービスの開始により、「私たちの生活や福祉サービスはどう変わるのか？」ということです。

先日、こころんで県の職員の方からの説明会がありました。説明を聞いてると解ったような気になりましたが、「じゃあ具体的に何がどうなる？」ということになると、よくイメージがつかめませんでした。(< "A" >) M

パネルの会へ参加

先日、浜通りの原町で「パネルの会」が開かれました。印象的だったことは、べてるの家の関係者の向谷地さんの話でした。精神病に関する話は重なりがちというイメージがあったのですが、向谷地さんの話は徹底して明るかったのです。重い障がいも、仲間と分かち合う事で楽に楽しくてゆかようです。仲間との絆があってこそ、障がいを肯定できるようになるようです。自分が持っている障がいを肯定し、他者に対してオープンであるからこそ、地域と共生できるのだと、向谷地さんの話を聞いてそう思いました。今回の「パネルの会」は、どの方の話しも非常に為になりました。そして、とても充実していたと思います。

渡邊純一

里山の再生プロジェクト (今回は稲刈りをしました)

里山で稲刈り(大信村にて)
 今日、僕達にとって初めての稲刈りでしたので、やる前は、稲を刈るにはどうすれば良いか、考えていたのですが、いざやると、なかなか思ったよりも稲を刈ることが出来まして、自分としては良かったです。周りの人たちは皆上手で、この人達は皆農家の人達かなと思うほど上手でした。東京や埼玉から、わざわざ遠くから来られた人達がいました。稲刈りが終わって里山の道を少し歩いて行きました。そして、食事です。鏡石町から来られたヨサコイの踊りを見ながら贅沢ですが搗きたての餅をいただきました。あんこ餅やきなこ餅と納豆餅を食べ美味しかったです。是非また食べたいと思います。後は、昔の話とクイズ等勉強になったんだけど、馬鹿な俺だから、みんな忘れちゃったイッヒ!あと真船さんのトークが面白くて笑っちゃいました。
 皆様、来年もまたやりましょう。この機会を用意して下さいましたスタッフの皆様、本当にありがとうございました。少し農業が好きになったよ。
 (M) (V)



M.K.

里山の再生プロジェクト

目的
 これから必要とされるのは、生き甲斐のある楽しい生活をするために人間と自然が共生できる受け皿として、現在は休耕田となっている里山を利用することにより環境整備や食育を図る。

事業内容
 障がい者・健常者を問わず、様々な方が農業や園芸等を通じ、安心して参加できる事業を行います。
 ・実際に体験することにより、園芸セラピーおよび農業セラピーとしてのイメージも併せ持つことができます。
 ・料理酒米造りという切り口で生産・加工・販売までの一連の流れの中に参加できる事業を行う。

対象者
 ・大木大吉本店
 ・NPO法人ころん
 ・農業生産法人(有)白河園芸総合センター
 ・福島県南振興局
 ・その他本事業に賛同する団体・個人

家族会に参加して

第2回家族教室 9月20日 家族の支えについて
 講師:東北福祉大学 助教授 渡邊純夫氏

家族会参加の感想

まず一つ思ったのは、講師の先生の話の中で、障がいを持つ人間は勿論つらいがそれを支える家族にも辛さ苦しみがあるという事でした。更に障がい者同士の会話の中にも自分の生活を仕事も含めて大変であるのに自身の親達も高齢なので、それをどう支えていけば良いかという切実な意見があった事です。 今ちゃん

これからの家族教室

第3回 11月22日(水) 13:30~
 当事者からのメッセージ
 (~家族に伝えたいこと~)
 精神医療サバイバー・保健福祉コンシューマー
 広田和子さん

第4回 12月13日(水) 13:30~
 家族の体験と交流
 (参加家族の話し合いと交流会)



総合防災訓練

9月28日午前10時から、矢吹消防署泉崎中島分署の協力により、ころんとグループホームあけぼの荘(矢吹町)の合同総合防災訓練を行いました。

当日は、非常通報装置が正常に起動しないというハプニングもありましたが、初期消火・非常通報・応急処置・避難誘導等の一連を機敏な行動で訓練ができ、予定とおりの時間で終了できました。防災訓練後、人形を使った心肺緊急蘇生法(心臓マッサージ+マウスtoマウス)やAED(心細動を正常化するための電気ショック)機器を使った訓練なども行いました。「災害は忘れた頃にやってくる」万が一の災害に備え、日頃から足腰を鍛えていく必要性を、全員が強く感じた訓練でした。

第3回ころんまつり



今年のころんまつりは、昨年までと違って泉崎中央公民館での開催になりました。すべて手さぐり状態の中での準備である。ボランティア世話人代表のTさんは実に緻密な計画書を作成してくれた。“うん、これで天気さえよければ絶対いける!!” 週間天気予報は曇か雨ばかり。もし雨なら…。祈る思いで迎えた前日は曇空。でも、雨は降らなかった。そして当日、テントを立ち上げている最中に雨が少しこぼれてきたが、その時だけだった。あとはどんどん晴れてきて、客足も順調にのびた。天の神様はきっと私達に味方してくれたんだと思います。だって片付けも全て終わったその日の夕方から雨が降りだし、何日も続いたんだもの。神様に感謝。まつりの準備から当日までかかわってくださった全ての人々に感謝します。
 ありがとうございました。

ころんまつり実行委員長
 前田広子



ころん祭りについて

今回のころん祭りは特に楽しかったです。催し物が沢山ありました。僕は、アブシーガの歌が好きです。聞いていて楽しいリズムだし、迫力のある歌声、とても良かったです。その他の催しも、とても楽しいものばかりでした。バザーやころんの品物もよく売れていました。何より良かったのが、ころんで売り出したクレープが完売したことです。他のお店のたこ焼きやかき氷もとてもおいしかったです。今回のころん祭りも、とても有意義なものになったと思いました。

我妻将憲

